



平成 21 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 東洋紡績株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 坂元 龍三  
 (コード番号 3101 東証、大証一部)  
 問 合 せ 先 財務経理部長 榎原 誠慈  
 (TEL. 06-6348-3091)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正

(単位:百万円)

## (1) 平成21年3月期通期 連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

|                                   | 売 上 高    | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 | 1 株 当 たり<br>当 期 純 利 益 |
|-----------------------------------|----------|---------|---------|-----------|-----------------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A)<br>(平成20年11月5日発表) | 410,000  | 20,000  | 15,000  | △ 5,000   | 円 銭<br>△ 7 16         |
| 今 回 修 正 予 想 (B)                   | 375,000  | 15,000  | 8,000   | △ 8,500   | △ 12 18               |
| 増 減 額 (B-A)                       | △ 35,000 | △ 5,000 | △ 7,000 | △ 3,500   |                       |
| 増 減 率 (%)                         | △ 8.5    | △ 25.0  | △ 46.7  | —         |                       |
| (ご参考)前期実績<br>(平成20年3月期)           | 431,417  | 27,075  | 21,049  | 4,698     | 6 73                  |

## (2) 平成21年3月期通期 個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

|                                   | 売 上 高    | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 | 1 株 当 たり<br>当 期 純 利 益 |
|-----------------------------------|----------|---------|---------|-----------|-----------------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A)<br>(平成20年8月25日発表) | 220,000  | 13,000  | 9,000   | 1,000     | 円 銭<br>1 43           |
| 今 回 修 正 予 想 (B)                   | 210,000  | 9,000   | 6,000   | △ 3,000   | △ 4 29                |
| 増 減 額 (B-A)                       | △ 10,000 | △ 4,000 | △ 3,000 | △ 4,000   |                       |
| 増 減 率 (%)                         | △ 4.5    | △ 30.8  | △ 33.3  | —         |                       |
| (ご参考)前期実績<br>(平成20年3月期)           | 259,780  | 19,250  | 19,318  | 3,508     | 5 03                  |

## (3) 業績予想の修正理由

平成20年11月以降、世界的な経済環境の悪化による急激な需要縮小や想定を上回る円高など、事業環境は一段と厳しさを増しております。当社グループにおいては、包装フィルム、“ダイニーマ”、メディカル、環境関連などの事業分野では底堅い収益状況を維持しておりますが、自動車、液晶部材関連向けの販売は大幅に落ち込んでおります。これに対し、徹底したコスト削減などの対策実行を既に開始しておりますが、通期の売上高およびすべての利益項目で前回発表業績予想値を下回る見込みのため、上記のとおり修正いたします。

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 修正の内容

| 基準日                      | 1株当たり配当金 |       |       |
|--------------------------|----------|-------|-------|
|                          | 第2四半期末   | 期末    | 年間    |
| 前回発表予想<br>(平成20年11月5日発表) | —        | 5円00銭 | 5円00銭 |
| 今回修正予想                   | —        | 3円50銭 | 3円50銭 |
| 当期実績                     | —        | —     | —     |
| 前期(平成20年3月期)実績           | —        | 5円00銭 | 5円00銭 |

### (2) 配当予想の修正理由

当社は、株主への利益還元は企業にとって最重要事項の一つと認識し、配当につきましては、安定的な配当の継続を基本としつつ、利益水準、財務体質(内部留保)、拡大のための投資などを総合的に勘案のうえ決定することとしております。

当期の利益水準につきまして、前頁のとおり当期純損益が損失の見込みとなりましたが、この大きな要因は、当期を仕上げの年と位置づけて進めております衣料繊維事業等の構造改革に伴う損失であり、一時的なものであります。しかしながら、営業利益および経常利益につきましても、平成20年11月以降、自動車、液晶部材関連等の事業分野で世界的な環境悪化の影響が極めて大きく、大幅な減益見込みとなりました。

この業績悪化を真摯に受け止め、既に取締役報酬の一部返上を行なっておりますが、平成21年4月以降、その対象と減額幅を拡大し、取締役および執行役員については20%~30%程度の報酬減額を行なうことを予定しております。

さらに、事業規模縮小に耐えられる収益構造の早期実現のため、製造固定費の圧縮、変動費単価の引き下げ、経費の削減および投資の見直しなど、既に開始しております100億円規模の効果を目指とするコスト削減活動をさらに徹底するとともに、開発については、市場の変化に対応したテーマへの重点化により、成果の早期実現を図ってまいります。しかしながら、今後の事業環境につきましては、より一層厳しい状況が続くと予想され、急速な回復は見込めないものと考えられます。

以上の状況を勘案し、誠に遺憾ではございますが、当期の期末配当金につきましては、前回予想に比べ、1株当たり1円50銭減額し、3円50銭とさせていただきます見通しでございます。

以上